

天下統一を目指して（織田信長／豊臣秀吉）

■ 信長の台頭と室町幕府の滅亡

1. 尾張（愛知県）の織田信長は、駿河（静岡県）の今川義元を桶狭間の戦いで破る。
2. 義昭を室町幕府の将軍にすえる。
3. 義昭を京都から追放し、室町幕府を滅ぼした。
4. 長篠（愛知県）の戦いで、甲斐（山梨県）の武田勝頼を、鉄砲を活用して破る。
5. 比叡山延暦寺、一向一揆、本願寺を降伏させ、天下統一を目指す。

■ 信長の政治

1. 安土（滋賀県）に安土城を築城
2. 楽市・楽座
「座」がもっていた特権を取り上げて、商人たちには税を免除した。
自由な営業を認めて、商工業の発展をうながした政策。
3. 道路整備や関所の廃止
4. 征服した土地に対しては、検地を行って、軍役を課した。
5. 堺屋京都の豪商に対しては、軍用金を要求した。
6. 以上のような政策で、荘園や座の支配を通じて利益を得てきた公家や寺院の力は衰えていった。
7. 関東地方から中国地方の一部までをほぼ統一
8. 明智光秀の謀反で、京都の本能寺で自害。

■ 秀吉の天下統一

1. 光秀を討ち、信長の後継者になり、大阪城を築城し、全国統一事業を進める。
2. 関白
3. 九州の島津、関東の北条氏、そして、奥州も服従させ、天下統一を実現。
4. 堺、博多、長崎の貿易都市や、石見銀山（鳥取県）を支配し、莫大な利益によって権力を強めた。

■ 豊臣秀吉の政治

1. 太閤検地

- ・「ものさし」や「ます」を統一し、生産量を石高で表す。
- ・耕作している農民を「本百姓」として、検地帳に記録

↓

- ・百姓は耕作の権利を保障、年貢を納める義務を負い、土地を離れることができなくなった。
- ・武士は、石高に応じて、軍役。
- ・荘園領主の公家や寺社は土地の権利を失う。

2. 刀狩

- ・百姓が一揆をくわだて、年貢をとどこおらせないように、百姓から刀・やりなど武器をとりあげる。

3. 兵農分離

- ・百姓→町人を禁止
- ・武士→町人や百姓を禁止
- ・城下町に武士と町人、百姓は村に住み。

↓

- ・武士が強い支配権をふるう近世社会の基礎が築かれた。